



DiD 大同工業株式会社

第121期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで





ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第121期第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 新家 康三

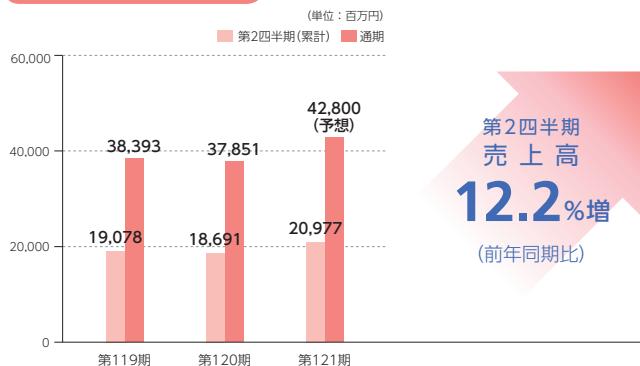
事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済が回復基調にあるものの、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、政府による積極的な経済政策及び日銀の金融緩和政策を背景に円安・株高が進行し、景気回復に向けた明るい兆しが

見え始めています。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、タイにおいてロジスティックセンターが本格稼働するとともに、インドにおいて二輪車用チェーン工場の一貫生産体制構築に向けた投資、米国において四輪事業への本格参入に向け四輪車用チェーン生産工場建設への投資を決定する

売上高



営業利益



など、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。国内においては、為替の円安効果を受けるとともに、産業機械関係を中心に受注が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は209億77百万円（前年同期比12.2%増加）、営業利益は12億7百万円（前年同期比656.8%増加）、経常利益は15億1百万円（過去最高）、四半期純利益は8億63百万円（過去最高）となり、前年同期を大幅に上回る増収増益となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画どおり実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承承賜りますようお願い申し上げます。

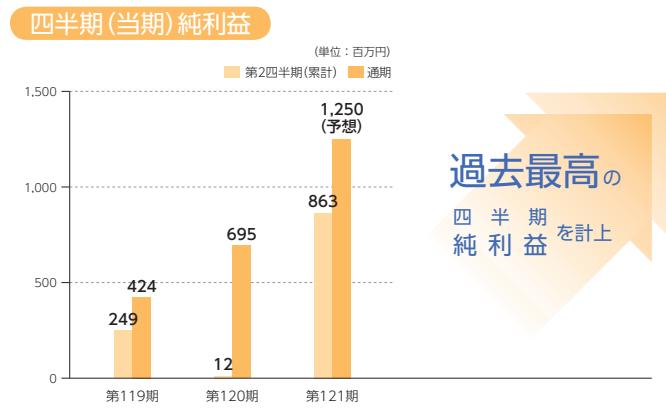
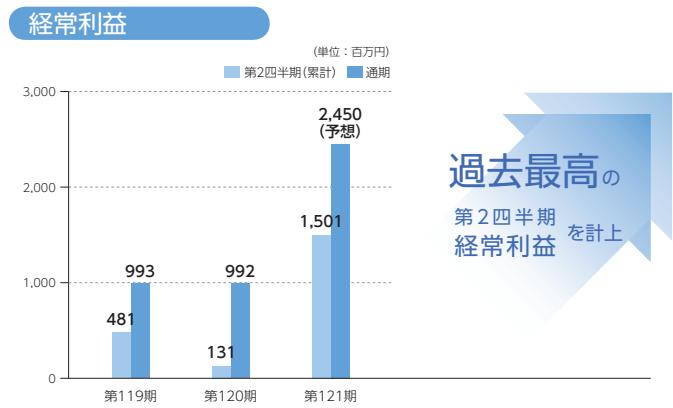
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国や日本など主要先進国を主導とした世界経済の緩やかな回復が見られますが、

米国金融緩和解除の動向、東南アジアや南米など新興国における成長鈍化懸念など、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

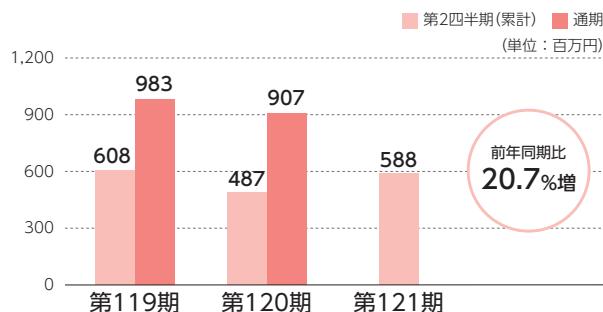
このような状況のもと、当社グループでは、『新たなステージへの変革』をスローガンとする第9次中期経営計画（2012～2014年）の折り返し地点を迎え、インドにおける二輪車用チェーン一貫生産体制に向けた工場増設及び設備増強、米国における四輪車用チェーン生産工場の立ち上げなどグローバル事業の更なる展開を図ってまいります。また、新たな事業分野に挑戦し、新規事業の創出を目指すとともに、次世代を担う人財を育成し、常に発展し続ける企業体質づくりを進めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



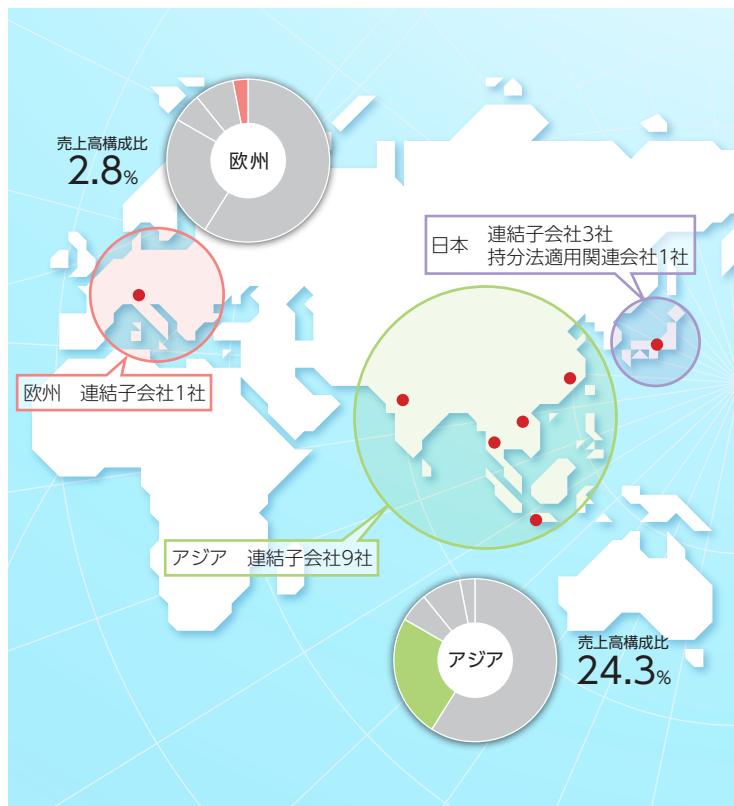
● 欧州

景気低迷の影響から受注は前年同期並みであったものの、為替の円安の影響もあり、売上は前年同期を上回りました。その結果、売上高は5億88百万円となりました。



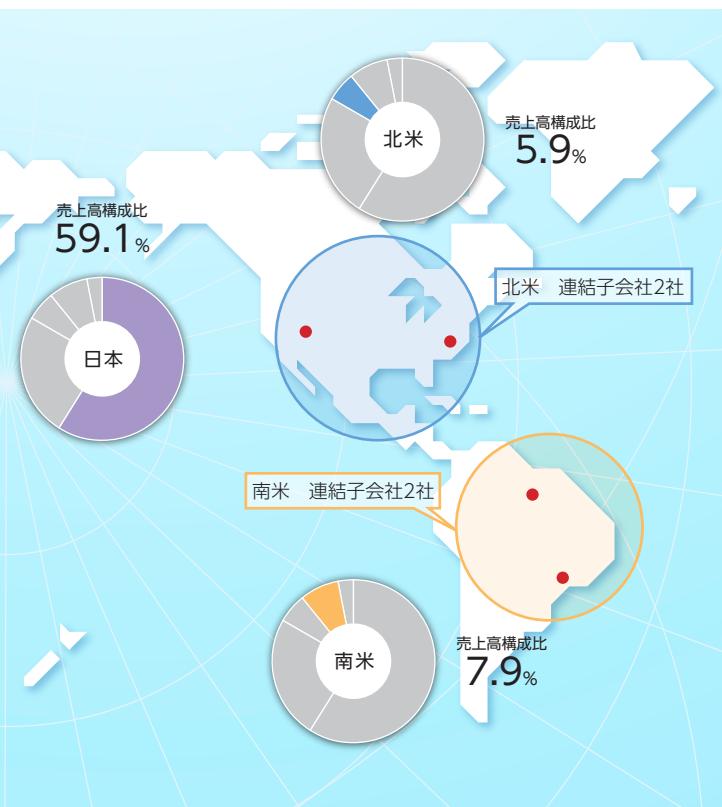
● アジア

二輪車用チェーン、リムにおいては、完成車メーカー向けでタイ、インドネシア、インドを中心に受注が好調に推移したことから前年同期を上回りました。四輪車用チェーンにおいてはタイを中心に受注が順調に推移し、前年同期を上回りました。コンベヤ関連においては昨年9月にタイにおいて新規連結子会社INTERFACE SOLUTIONS CO.,LTD.が加わったことで前年同期を上回りました。その結果、売上高は51億6百万円となりました。



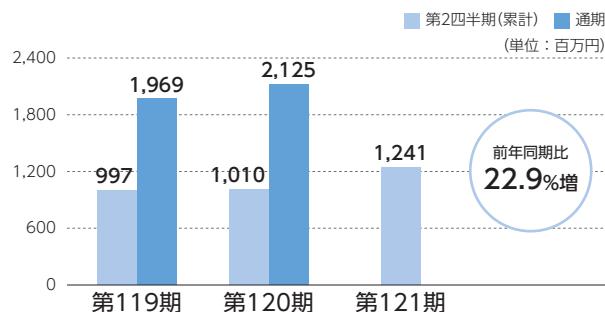
● 日本

二輪車用チェーン、リム等において、為替の円安効果があったものの、完成車メーカーの海外生産移管等の影響により受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。四輪車用チェーンは、完成車メーカー向けにおいて採用車種の販売が好調であったことにより前年同期を上回りました。産業機械用チェーンにおいては、国内設備投資の回復基調の影響もあり、順調な受注状況で推移するとともに、コンベヤ関連において、製鉄メーカー向けの大型案件の売上が計上されたことから、前年同期を上回りました。その結果、売上高は123億89百万円となりました。



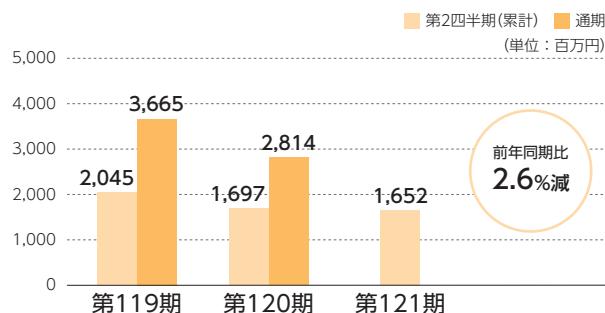
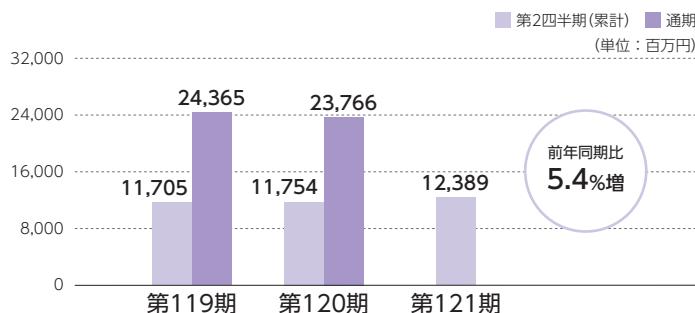
● 北 米

為替の円安の影響及び四輪車用チェーンの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。その結果、売上高は12億41百万円となりました。



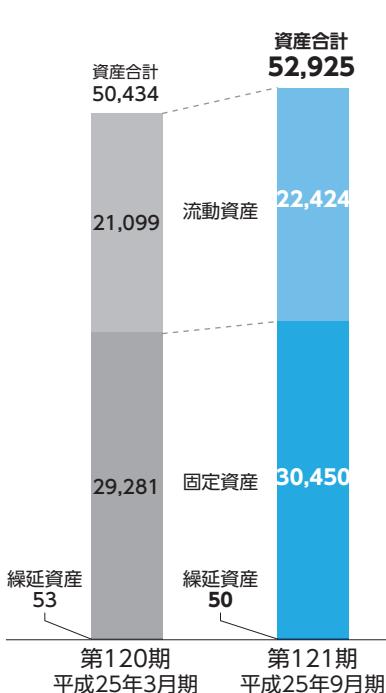
● 南 米

昨年から引き続き、政府による金融規制の影響により、二輪車の販売が低調であったことから厳しい受注状況で推移したため前年同期を下回りました。その結果、売上高は16億52百万円となりました。



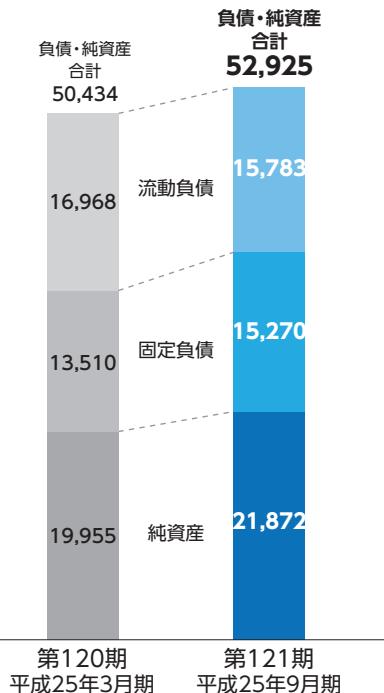
●資産の部

単位：百万円



●負債及び純資産の部

単位：百万円



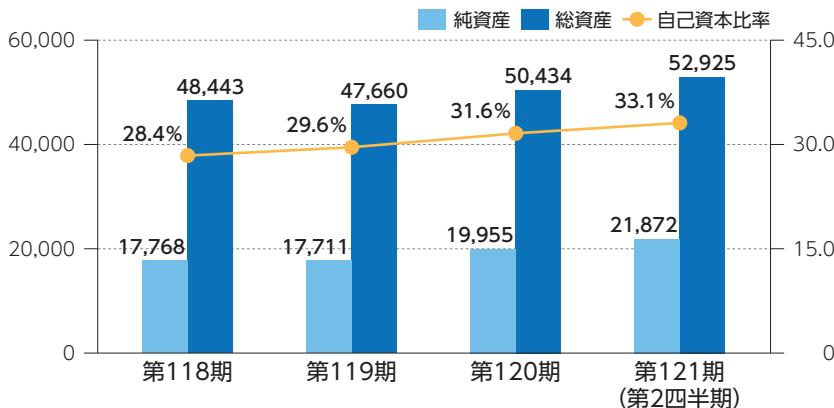
●ポイント解説

総資産は、たな卸資産が減少したものの、現金及び預金、機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ24億91百万円増加しました。

負債は、繰延税金負債が増加したことなどにより、前期末と比べ5億74百万円増加しました。純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ19億16百万円増加しました。

●純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

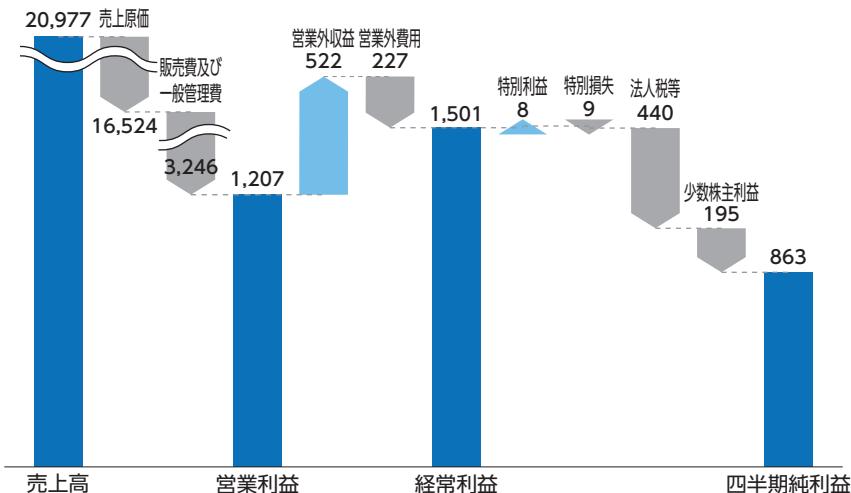


●ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加などにより純資産が増加した結果、前期末と比べ1.5ポイント増加の33.1%となりました。

● 損益の状況 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

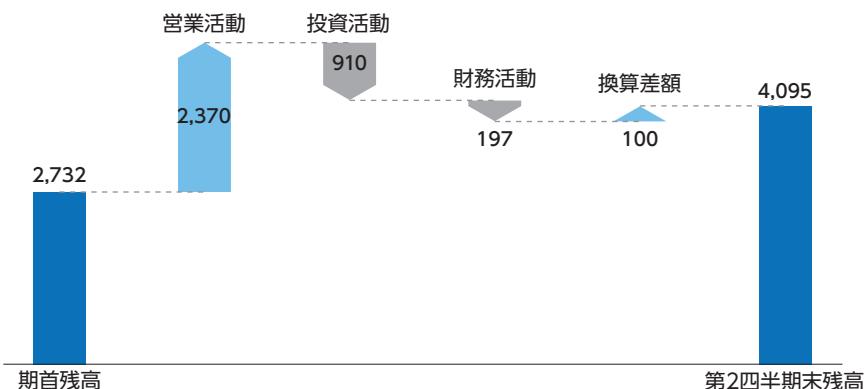
四輪車用チェーンは、国内外ともに好調でしたが、二輪車用チェーン・リム等は、国内においては完成車メーカーの海外生産移管等による受注減の影響を受けつつも、アジアでは好調に推移しました。コンベヤ関連は、国内における大型案件の売上計上及びタイ連結子会社の追加により、また産業機械用チェーンでも、回復基調の国内設備投資を中心に受注が順調に推移しました。その結果、為替の円安効果も追い風となり、過去最高の経常利益及び四半期純利益を計上するなど、売上・利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第121期 平成25年9月期	20,977	1,207	1,501	863
第120期 平成24年9月期	18,691	159	131	12

● キャッシュ・フローの状況 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加などにより23億70百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出などにより9億10百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払による支出などにより1億97百万円の使用となりました。

会社の概況

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：昭和8年5月25日
 資本金：27億2,637万円
 従業員：734名（個別） 2,435名（連結）

事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（MS-2ビル）
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜松営業所：浜松市中区萩丘1-19-11
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

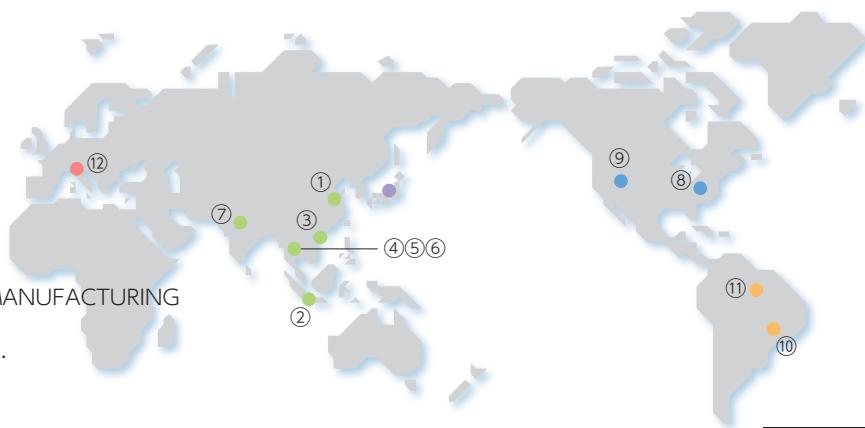
グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑨ RAD MANUFACTURING, INC.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

会社役員状況

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
専務取締役	立田康行
常務取締役	中野金一郎
常務取締役	平野信一
常務取締役	新家啓史
取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	棚橋健一
監査役	東森正則

(注) 1. 監査役笠靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
 2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株（自己株式48,366株含む）

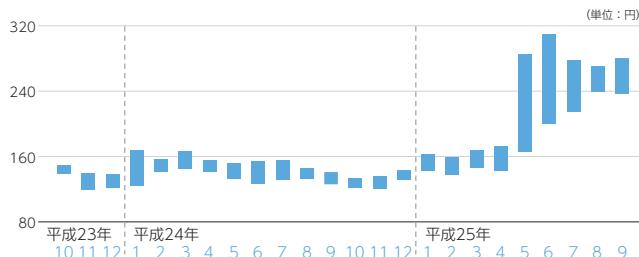
株主数：4,331名

大株主（上位10名）

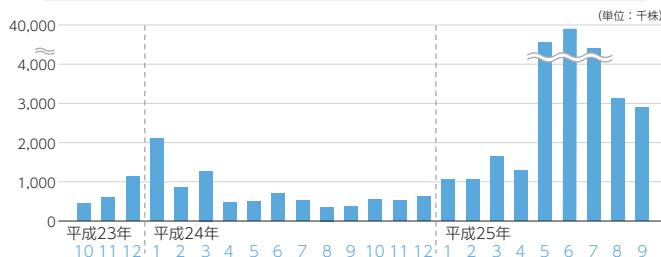
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,308千株	4.90%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
株式会社 みずほ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,275	2.71
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

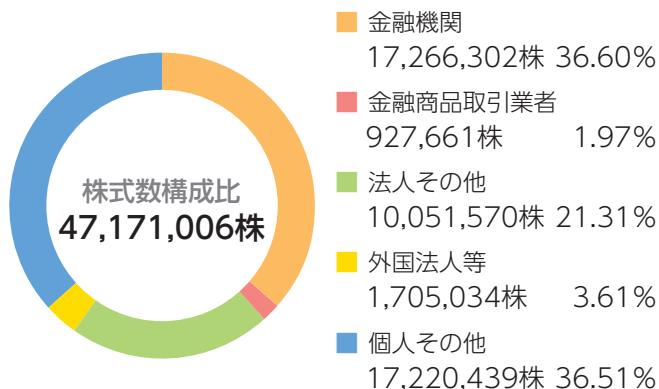
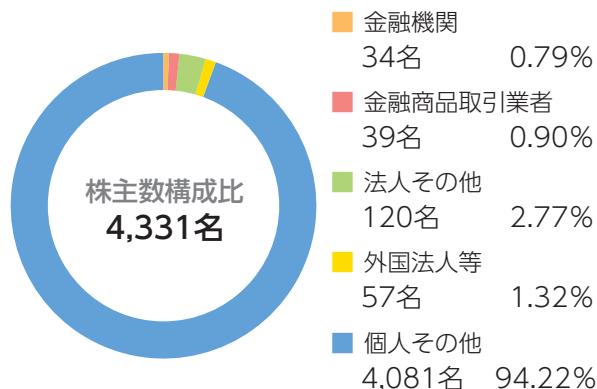
株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



株式分布状況



■ アメリカ子会社にて工場建設に着工

当社のアメリカ子会社DAIDO CORPORATION OF AMERICAは、2002年5月の設立以来、主に二輪車用チェーン・リム及び産業用チェーンの輸入販売を行っており、昨年より新たなビジネスとして四輪車用エンジン内チェーンの輸入販売を展開しております。リーマンショック以降停滞していた北米の四輪車需要は急速に回復してきており、今後の更なる成長も期待できることから、四輪車メーカー各社は北米における事業拡大を推し進めております。

このような状況のもと、DAIDO CORPORATION OF AMERICAにおいて、四輪車用エンジン内チェーンの生産工場を建設し、チェーンならびに関連システム部品の生産に着手することにより、巨大四輪車市場である北米に本格参入することといたしました。

新工場は、本年8月より既に建設が進められており、来年8月に予定されている操業をもって、当社グループにおけるグローバル事業の更なる展開を実現してまいります。



▲新工場完成予想図

【新工場の概要】

延床面積	8,250㎡ (現在5,110㎡)
投資額	4,300千米ドル
従業員	工場操業時75名見込み (現在39名)

【売上見通し】

(単位：千米ドル)

	2013年	2014年	2015年	2016年
売上高	25,000	30,000	40,000	43,000
(内、当事業の売上高)	—	(5,000)	(15,000)	(18,000)

■ 福田工場にて工場を増床—新型設備を導入

当社の主要生産工場のひとつである福田工場（石川県加賀市）において、四輪車エンジン内チェーンの部品工場を増床した上で、チェーンに使用される部品（ピン）の特殊表面処理を行う新型設備を新たに導入いたしました。

四輪車エンジン内チェーンは、エンジン内で動力を伝達するために絶えず摺動しゅうどうするという性質から、非常に高い品質と性能が要求されます。また、プレートとピンのみからなる単純な構成であることから、摺動時に支点となるピンの表面には大きな負担がかかるため、表面に硬化膜層を形成する特殊な処理を施すことが必要となります。

新型の特殊表面処理設備は、従来の設備と比べて処理能力の拡大及び自動化等による大幅な生産効率の向上が図られたことに加え、安全・品質面にも十分配慮されたものとなっており、本年11月からの試験的な稼働を経て、順次設備を増強した上で来年2月より本格稼働を開始する予定です。

今後は、強化された生産体制をもって、より迅速且つ的確に四輪車メーカー様のニーズにお応えしてまいります。





▲DAオフィス外観

D.I.D ASIA CO., LTD. (以下DA) は、タイの首都バンコクから車で2時間程の距離のラヨン県にあるサイアムイースタン工業団地内にあり、同じDIDグループ会社であるDAIDO SITTIPOL CO., LTD. (以下DS) の敷地内に社屋を構えております。近隣には、タイ最大の貨物取引量を誇るレムチャバン港があることから、多くの日系・欧米企業が進出するエリアとなっています。

DAは、タイを除く東南アジア・中東・アフリカ地域における二輪車用補修製品の販売会社として2005年4月に大同工業100%出資による現地法人として設立されました。設立以前より、DIDブランドのチェーンは、世界トップブランドとして支持されていましたが、アジア通貨危機の頃より安価な中国製チェーンが台頭しはじめ、現地でのシェアが徐々に奪われていた状況であったため、先にタイに進出していたDSと共に市場シェア回復を目的として設立されたのがDAです。

東南アジアにおける日常の移動手段は、比較的安価で小排気量の二輪車が主流となっており、それらには必ずといって良いほどチェーンが使用されています。平均的な走行距離も長いため、自ずとチェーン交換の必要性が生じることから、補修用チェーン市場は二輪車の年間新車販売台数の数倍規模と言われる程の需要が見込める巨大マーケットとなっています。



▲DA倉庫内の様子

D.I.D ASIA CO.,LTD.の概要

会社設立時期： 2005年4月

資本金： 10百万バーツ

所在地： Siam Eastern Industrial Park 60/12 M.3 Mabyangporn, Pluakdaeng Rayong 21140, Thailand

従業員数： 43名(2013年10月時点)

ホームページURL： <http://www.didasia.co.th/>

また、近年の価格競争激化と並んで、DIDグループにとって大敵となるのがDIDブランドを謳った模倣品です。極端な地域になりますと店頭に並ぶ90%以上が模倣品というケースもあった程です。この厳しい市場で勝ち残るために、DA



▲DA取扱い商品

では各国の販売店1軒1軒へ訪問する活動をはじめとし、TVやラジオなどを通じDID製品の高い品質と性能の訴求に努めております。

DA設立以降は、東南アジアの市場成長を背景に、補修用チェーンの売上とシェアを徐々に拡大させつつも、2009年以降は純正品として二輪車メーカー様にチェーンの供給を開始したことで更に売上を伸ばしました。しかし、販社であるが故に収益の状態は決して磐石とは言えない状態であったため、積極的に高付加価値製品の開発・拡販に注力した結果、収益体質の改善に成功。また、2010年には経済成長著しいインドにおいて販売会社を設立。立ち上げ時から全面的にサポートを行うことで、現在の製造工場を有する拠点に成長するに至ったと自負しております。更に、2012年の増資時に輸入権を獲得し、今年竣工した「ロジスティックセンター」を活用し、DIDグループの調達・供給の両面を担う総合拠点として昇華することによりお客様への更なるサービス向上を図るなど、DIDグループの一員として求められる役割に柔軟に対応しつつ成長を遂げてまいりました。

今後とも私たちDAは、DIDグループが重要エリアと位置づける東南アジア地域における司令塔として、中心的な役割を担ってまいりたいと考えています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎ 0120-782-031		
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ(株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡下さい。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡下さい。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせ下さい。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

